



おにぎり通信

2018年 6月30日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

明日から7月ですね。熱中症がこわい季節になりました。熱中症にならないためにも、木陰や駅舎など、どこに行けば「涼」がとれるかをあらかじめ決めておくことが大事です。そんな場所を確保したら、衣服をゆるめて、体を冷やしましょう。そして水分・塩分の補給を！



〈6月18日 (月) 福祉行動報告〉

どなたも参加されませんでした。

☆7月2日 (月) の福祉行動はお休みになります。

申し訳ありませんが、次回の福祉行動の日程は未定です。

決まり次第、次号以降のおにぎり通信でお知らせします。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

おにぎり仲間の配布コースにもなっている日本橋。ご存じのように、日本橋は江戸時代に東海道など五つの街道の起点でした。

その日本橋の真上にかかる首都高速道路を地下に移して、水辺の景観をとりもどす構想が動きだしました。これまでも景観論争が起きていましたが、今回、国土交通省、東京都、首都高速道路会社が、日本橋の上を走る首都高速道路に関する検討会を開き、神田橋ジャンクションから江戸橋ジャンクションまでの約1.8キロを地下化する計画をまとめました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック閉幕後の着工を目指し、数千億円の事業費を想定しているそうです。小泉純一郎首相のときにも地下化が検討されたのですが、このときの試算が5000億円だったそうなので、今ではどのくらいになるか？ です。工事期間は10年から20年と、まだはっきりしていません。

この地下化計画は、歴史的建築物である野村證券の「日本橋野村ビル旧館」を保存しつつ50階を超える超高層ビルなどを配置する大規模再開発事業との一体的な整備も視野に入れているとといいます。まだずっと先のこととはいえ、街が大きく姿を変えることになり、工事期間中や完成したあかつきには、みなさんの生活空間にも影響が出る可能性があります。

ちなみに、初代の日本橋は徳川家康によって1603年につくられ、その後、400年あまりのあいだに19回も架け替えられ、現在の第20代日本橋は1911(明治44)年に架設され、1999年に重要文化財に指定されています。1911年当時はまだ、江戸以来の魚河岸もこの地にありました。日本橋の魚河岸がいまの築地に移ったのは、大正12年の関東大震災以降のこと。その魚河岸もまもなく豊洲に移転になりますね。

おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のおうちに召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

